

日本学術会議 化学委員会

物理化学・生物物理化学分科会（第24期・第5回）議事録

日時：2019年12月26日（木）、14時40分～15時45分

場所：日本学術会議 6階 6-A(1) 会議室

出席者12名： 相田 美砂子、安藤 香織、岡本 裕巳、川合 眞紀、栗原 和枝、黒田 玲子、
所 裕子、中嶋 敦、福村 裕史、三澤 弘明、村越 敬、山本 達之

欠席者5名： 阿波賀 邦夫、岩澤 康裕、寺嶋 正秀、西川 恵子、山内 薫

委員長 相田 美砂子（広島大学大学院理学研究科・教授）

副委員長 所 裕子（筑波大学大学院数理物質科学研究科・教授）

幹事 山本 達之（島根大学大学院自然科学研究科・教授）

幹事 村越 敬（北海道大学大学院理学研究院・教授）

冒頭、本分科会委員17名のうち、半数以上の12名の出席が得られたので分科会として成立することが確認された。

【承認事項】

1. 2019年5月30日に開催された第24期・第4回 物理化学・生物物理化学分科会の議事録について承認された。

【報告・協議事項】

- (1) 同日午前中に開催された化学委員会全体会議において、相田委員長より、“地方にある大学における教育研究環境の現状把握と問題提起について”の講演が行われたことが報告された。
- (2) 地方にある大学における教育研究環境の現状把握と問題提起について、第24期に予定している意思の表出に関する説明がなされた。
- (3) 地方にある大学における教育研究環境の現状把握と問題提起について、議論を行った。大学間の連携の在り方や小中学校の教員の理想的な在り方、共同利用施設に求められる対応などについて、意見交換がなされた。
- (4) 研究者の評価方法について、現状の問題点と改善に有効な方法などについて、活発な意見交換を行った。今後さらに議論を進めていくことを確認した。
- (5) 上記議題の検討について、本分科会が主導するとともに、化学委員会や他の分科会と連携した活動を行っていくことを確認した。

以上